

モモせん孔細菌病の防除を徹底しましょう!!

ふくしま桃の郷づくりプロジェクト推進会議

- モモせん孔細菌病の春型枝病斑の発生が非常に多い状況です。
- 本病は細菌(バクテリア)による病害で、薬剤だけの防除は困難です。
- 感染拡大を防ぐためには徹底した春型枝病斑や発病葉・発病果実を含む結果枝など病斑部位(感染源)の除去が重要です。



<春型枝病斑の特徴>



現在、春型枝病斑は健全部との境界に亀裂が入り、かしよう状になっています。

1. 春型枝病斑のせん除による耕種的防除 ～春型枝病斑のせん除は健全部を含めて～

- ★ 葉や果実に感染がみられる場合、その周囲に春型枝病斑があります。
- ★ 枝病斑をせん除する場合は、更新候補となる新梢を確保した上で、発病部位が残らないように健全部を含めて切除しましょう。
- ★ 病斑部を直接切除したり削ったりした缺は感染源になるので、1度消毒してから使用してください。
- ★ 切除した被害部位は園外で適切に処分しましょう。



初期の果実病斑は針で突いたような褐色小斑点です。

2. 防風ネット設置による耕種的防除

感染拡大を防ぐため「防風ネット」は有効な手段です。

国の「果樹経営支援対策事業」、および県の「ふくしま桃の郷づくりプロジェクト実践支援事業」を積極的に活用して導入しましょう。

3. 薬剤散布等による防除

春型枝病斑からの感染拡大を防ぐため、降雨前の散布を心がけ、各地の防除暦にしたがって十分量の薬剤散布を徹底しましょう。

地域ぐるみで対策に取り組みましょう!!

問い合わせ先 最寄りの県農林事務所農業振興普及部、農業普及所またはJAへご相談ください
ふくしま桃の郷づくりプロジェクト推進会議／福島県／公益社団法人福島県植物防疫協会(H28.6)